

自然関連財務情報開示タスクフォース (TNFD) フォーラムに参画 ～生物多様性保全方針も改定～

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見研介）は、環境課題をはじめとする社会課題の解決や持続可能な社会の実現に貢献するために、自然資本や生物多様性などに関する、企業のリスク管理と開示の枠組みを構築するための国際組織「自然関連財務情報開示タスクフォース（以下、TNFD）」の理念に賛同し、このたび、TNFDの活動をサポートする企業・団体などで構成されるネットワーク「TNFDフォーラム」に参画いたしましたので、お知らせいたします。TNFDフォーラムでは、情報開示枠組みの構築に向けた専門的な知見による各種サポートや、TNFDに関連する情報共有などが行われています。



TNFDフォーラムのロゴマーク

◆生物多様性を巡る背景

2022年12月の生物多様性条約締約国会議において採択された「昆明・モントリオール宣言」における2030年ネイチャーポジティブの実現に向けて、企業が自社の事業活動が環境に及ぼす影響や、依存度に関して情報開示を求める動きが加速しています。また、WWF（世界自然保護基金）の「生きている地球レポート2022」によれば、自然と生物多様性の健全性を測る指標「生きている地球指数（LPI）」は、1970年から2018年の間に平均69%低下しており、生物多様性の損失は危機段階にあると言われております。生物多様性の問題は、気候変動とともに社会的に解決しなくてはならない重要事項になっております。

◆生物多様性保全方針を改定し、取り組みを加速化

ファミリーマートは、これまで、環境の中長期目標「ファミマecoビジョン2050」に基づき、海洋汚染や生態系へ悪影響を与えるプラスチックごみの発生抑制や、容器原材料の環境配慮型素材への切り替え、規格外食材を活用した商品開発による食品ロスの削減など、生物多様性の保全につながるさまざまな取り組みを積極的に行ってまいりました。

今後も、これらの取り組みを、より一層推進していくとともに、このたびの「TNFDフォーラム」への参加を契機に、当社の生物多様性保全方針を国際的な条約などを踏まえた内容に改定いたしました。新たな方針では、持続可能な生産の後押しやステークホルダーとの協働などに関する項目を追加したほか、「生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せる」ことを意味する「ネイチャーポジティブ（自然再興）」に向けた取り組みを推進することを表明しております。

<当社の新しい生物多様性保全方針はこちらのURLからご覧いただけます>

<https://www.family.co.jp/sustainability/management/policy.html>

【ご参考】

●ファミマ eco ビジョン 2050 について

<https://www.family.co.jp/sustainability/ecovision.html>

●当社の環境配慮を通じた「地域と地球の未来」への貢献に向けた取り組みについて

https://www.family.co.jp/sustainability/material_issues/environment.html

●TNFD フォーラムのホームページ

<https://tnfd.global/about/the-tnfd-forum/>

●生きている地球レポート 2022 について

<https://www.wwf.or.jp/activities/lib/5153.html>

ファミリーマートは、「あなたと、コンビニ、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、便利の先にある、なくてはならない場所を目指してまいります。

以上